

「自閉症を正しく理解すること」ということ」

～自閉症の支援でもっとも大切なこと～

■「自閉症」とその支援を正しく理解するための講演会■

自閉症の人たちに適切な支援をするために必要なこと。言うまでもなく、それは「自閉症の人たちを正しく理解すること」です。

世界でもっとも認められ、実践されている自閉症の人たちへの支援モデルであるTEACCHプログラムを今日の世界規格に育て上げた米国ノースカロライナ大学のゲーリー・メジボフ教授による、自閉症を正しく理解し、適切な支援をするための「世界でもっとも分かりやすい講演会」です。日本語通訳つき（逐次）。

講師

ゲーリー・メジボフ

(米国ノースカロライナ大学教授 TEACCH部元部長)

とき

2016年8月27日（土）10時00分～16時15分

ところ

JMSアステールプラザ 中ホール
(広島市中区加古町4-17)

定員

400人（定員になり次第締め切り）

参加費

3,240円（税込）

申し込み

FAX、Eメール、ハガキでお申し込みください。
詳しくは裏面をご覧ください。

●主催

広島自閉症協会
朝日新聞厚生文化事業団

●後援
(予定)

厚生労働省 文部科学省
広島県 広島市
広島県教育委員会 広島市教育委員会
広島県発達障害者支援センター
広島市発達障害者支援センター

Program プログラム

9:30 受付

- 10:00 ~ 12:00 **講演** 「自閉症の人たちの学習スタイル～正しく理解する」
- 13:00 ~ 14:30 **講演** 「構造化された指導～自閉症の学習スタイルに合わせた支援」
- 14:45 ~ 16:15 **講演** 「自閉症の支援でもっとも大切なこと～TEACCHプログラムのコアバリュー」

Profile プロフィール

ゲーリー・メジボフ 米国ノースカロライナ大学TEACCH部元部長

自閉症の人たちの教育、福祉、行政サービスや研究など、あらゆる分野にわたる先駆的なアプローチによって高い評価を得ている米国ノースカロライナ州のTEACCHプログラムの総責任を長年担い、同プログラムを世界的なプログラムに育て上げた最大の功労者です。

TEACCHプログラムでは、自閉症の人たちのバリアフリーを進めるためには、その自閉症の人たちの障害を正しく理解することがもっとも重要であるとし、その上で彼らにもっとも適した教育の方法やコミュニケーションの支援、社会的なサポートのあり方といったトータルな支援を追及し続け、実践を広げています。

今回の講演会では、自閉症の人たちを支援する上でもっとも重要な「自閉症の人たちの学習スタイル」を正しく理解することから、その学習スタイルに合わせた支援の具体的方法として「構造化された指導」について、また、自閉症の人たちの支援者としてぜひ身につけておきたい「自閉症の支援でもっとも大切なこと」についてご紹介します。

お申し込み

FAX、Eメール、ハガキのいずれかで、
①氏名 ②〒・ご住所 ③TEL・FAX番号 ④ご職業
⑤会場名(広島会場)を明記の上、下記申し込み先までお申し込みください。

※お申し込み後、10営業日以内に予約確認書兼請求のご案内をお送りします。ご案内に記載の期日までに参加費をご入金ください。
※お電話でのお申し込みは受け付けておりません。

申し込み・問い合わせ

近畿日本ツーリスト(株)トラベルサービスセンター東日本
「広島講演会」係
〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-14-24
西新宿KFビル3F
FAX 03-6730-3230 TEL 0570-064-205
Eメール tourdesk149@or.knt.co.jp

営業時間(月)～(金) 10:00～17:00
※土・日・祝休み

内容に関するお問い合わせ

朝日新聞厚生文化事業団
〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2
TEL 03-5540-7446 FAX 03-5565-1643
<http://www.asahi-welfare.or.jp/>



JMSアステールプラザ

【JR広島駅から】

●市内電車利用

宇品行き(紙屋町経由) 市役所前下車(600m)
江波行き 舟入町下車(400m)

●バス利用

広島バス24番
吉島営業所行きまたは吉島病院行き 加古町下車(200m)

●タクシー利用

約15分